



お盆が過ぎ、オリンピックも終わり、夏休みも終わりに近づきました。日本ではあまり見かけなくなった盆踊りですが、こちらでは現役です。お盆は8月ですが、7月に行われていました。日系人だけでなく、日本とは関係ない普通のアメリカ人も、本当にたくさんの老若男女が盆踊りを楽しんでいて、長い歴史があり、人々に受け入れられている様子が見て取れました。8月6日には灯籠流しも行われました。



それから Sea Fair という夏を祝うパレードもシアトルの大通りで行われました。姉妹都市の神戸市が毎年パレードに出ていて、参加しました。上のマークはそれぞれの都市の旗です。阪神大震災の時、被災した神戸の子どもたちをシアトルに招待しました。その子どもたちが大人になってシアトルを訪ね、お礼を兼ねてのパレードでした。こちらも交流の積み重ねを感じました。

パレードといえば、シアトルではたくさんのパレードが行われます。中でも有名なのは6月のPrideパレードです。LGBTと呼ばれる、性的少数者が自分たちを誇りに思って大通りを歩きます。人それぞれという意味を込めて、街は虹色であふれます。街全体で彼らを支えていて、成熟した街という印象を受けます。



シアトルにはスポーツのチームも多いです。現地で一番人気なのはアメリカンフットボールのシーホークスですが、日本で有名なのは今年好調な野球のマリナーズです。岩隈投手や青木選手が在籍し、ヤンキース田中投手との元楽天同士の投げ合いもありました。イチロー選手はシアトルを離れた今も人気で、3000本安打は大きく報道されました。また、川澄選手や宇津木選手が所属する女子サッカー、シアトルレインも強いです。

さて学校はといえば、7月から8月の夏休みのうちに清掃スタッフがすべての教室の床を洗い、廊下はワックスがけをしてくれました。こちらの学校は9月からなので、夏休みは日本でいうところの春休みという意味もあります。



8月の後半には、新学期に備えて1年生から4年生まで各学年が決まった日に生徒が決まった日に登校する日があります。授業を確認して教科書を受け取ったり、生徒証の写真を撮ったり、ロッカーの割り当てを確認したりといろいろと準備をするためです。そこではリーダーシップという授業を選択している生徒や、チアリーダーの生徒がその係をしていました。特に新入生が登校する日は、彼らが学校中案内して回ったり、受付をしたりと学校中で大活躍でした。この時期は Back to school と言われ、9月がいよいよ新年度が始まります。